**Violin**

　こんにちは、バイオリンパートです。このたびは駒場祭特別演奏会にご来場いただき誠にありがとうございます。  
　似たような形をした弦楽器の中で最も小さいこの楽器に、ソロで弾かれる楽器として馴染みのある方もいらっしゃると思いますが、今日はオーケストラです。バイオリンならではの美しいメロディはもちろん、きざみやピチカート(弦を指で弾く奏法)など、多様な役割を果たすバイオリンに注目していただけると面白いかもしれません。バイオリンは客席にもっとも近い場所で弾くこととなるので、弓や指の動き、ピチカートは視覚的にも楽しめます。  
　今年も新入生に恵まれ二年生11人、一年生17人の28人でのぞみます。最も大所帯で個性も豊かなバイオリンパートですが、音色も容姿も美しいコンサートマスター・常田さんとそれを支える2ndトップの守田ん(もりたん)さんの下、一丸となって演奏したいと思います。今日はどうぞ最後まで楽しんでいってください。

**Viola**

突然ですが、質問をさせていただこうと思います。

皆さんは「あんこの入っているあんまん」と「あんこの入っていないあんまん」、どちらを食べたいと思いますか？　―――　もちろん、あんこの入っているほうですよね。  
  
　「ヴィオラのいないオーケストラ」というのは、まさに「あんこの入っていないあんまん」のようなものです。ヴィオラは決して目立った動きをしているわけではないけれど、ヴィオラがいることでようやく中身の詰まった音楽ができあがるのです。  
  
　さて、もう一つ質問させていただきます。  
  
　「毎日食べるチョコレートケーキ」と「一年に一回だけ食べられるチョコレートケーキ」、どちらのほうが美味しいと思いますか？　―――　どちらも美味しいとは思いますが、おそらく、一年に一回だけ食べられるケーキのほうがより美味しく感じますよね。  
  
　「ヴァイオリンが弾くメロディ」が「毎日食べるチョコレートケーキ」だとすれば、「ヴィオラが弾くメロディ」は「一年に一回だけ食べられるチョコレートケーキ」に相当します。ヴィオラがメロディを弾かせてもらうことなんて滅多にありませんが、だからこそ、ヴィオラは貴重なメロディを心を込めて美しく歌い上げます！  
  
　多少大袈裟に書いてしまいましたが、ヴィオラはそんな感じの楽器です。ぜひご注目ください。  
  
　当団ヴィオラパートの駒場生は、2年生4人、1年生6人の計10人から成っています。男女比は4：6で、数においても力においても女性が男性を圧倒しつつあります。  
　でも、決して争いあっているという訳ではありません。パート練習のあとに皆でご飯を食べに行ったら、あっという間に1，2時間過ぎてしまうような、非常に和気藹々とした仲の良いパートです！

**Violoncello**

こんにちは！東大オケチェロパートです！

駒場チェロパートは2年生2人と1年生5人の計7人でがんばっています！

2年生の斉藤さんは我らがチェロパートの頼れるパートリーダーです！

普段はちょっとチャラいけど(笑)演奏するときはうってかわって真剣な表情となり、僕達に的確な指示をだしてくれます！

口癖は｢かわいい女の子を口説くようにチェロ弾くんだよー」

同じく2年生の富井さんは我らが駒場オケの駒場総務！

運営面だけではなくいろいろな面で僕達の駒場オケ生活を支えてくれました！

口癖は｢彼女なんかいらないさ、俺にはローナ(チェロの名前)がいるからな。｣

1年生の豊倉くんはなんと帰国子女です！英語ペラペラ！

成績優秀な彼ですが実は性格が悪いという噂も…？(笑)

口癖は｢やだー｣｢教えてあげなーい｣｢どやっ｣

1年生の永野さんはピアノも和太鼓もできる熊本出身の女の子です！

でもレッスンに教本を忘れていったりするなかなかのドジっ子です！

口癖は｢もっこす！｣

1年生の原田くんは…いかにも東大生！すなわちイカ東！

初心者なのにチェロをあっという間に弾きこなしていました！びっくり！

口癖は｢偏微分なんて寝ててもできるよー｣

1年生の山本さんはスタイル抜群で頼れる女の子です！

チェロをばりばり弾き、でも結構適当で、つかみがたいです！

口癖は｢えーめんどくさいー｣

1年生の安並くんは高知出身の個性的な男の子です！

お勉強もがんばりましょうね！

口癖は｢あらきたんー！！｣

本日はとっても仲良しチェロパートの熱ーい演奏をお聴きください！！

(注：口癖はほとんどフィクションです。調子のってごめんなさい)

**Contrabass**

こんにちは！コントラバスパートです。

ここでは22コントラバス弾き（♀）による、独断と偏見に満ちたパート紹介をしたいと思います★

〜まずは楽器について〜

コントラバスはいちばんおっきな弦楽器で、オーケストラの最低音部を担っています。ゆわゆる縁の下の力持ちです！みんな感謝しなさいww←

どのくらい大きいかといいますと、計ったことないから分からないけど、とにかくおおきいです。頭のおかしな22は、合宿のときにコンバスのソフトケースにくるまって寝たことがあります。なにが言いたかったかというと、まあそれくらいおおきいってことです。

さらに当団には通常の4弦よりさらに低いH線が加わった5弦のコントラバスが3台あります。本日はそのうち2台をご覧いただけます。5弦楽器を弾きこなす21の先輩方の姿は圧巻ですよ＞＜！！！

〜次にパート員紹介です〜

まずは我らがパートリーダーの湯川先輩。ふだんはとっても可愛らしいのに、ベースを弾くときはほんとにかっこいい！！パート練習のときもいつも的確な指示をくださり本当に尊敬しています！！ちなみに超美脚です。でも舞台衣装だとロングスカートでかくれてしまうので私は本当に残念におもっています←

湯川先輩の相方である加藤先輩はとっても熱い方です！いつも全体練習が終わってからも、個人的に声をかけて指導をしてくださってほんとうに感謝しています。演奏の方もとっても熱くて、その姿は駒場オケのジミヘンとも呼ばれています（うそだけど。）

次に22の神長賢人くん。けんじんくん、ではないです。けんとくんです笑　しかし彼は名前に恥じないデキ男です☆その人望は次期駒場総務に選ばれたほど！さすが駒場ベースで唯一リア充なだけはあるww　彼の唯一の欠点と言えば演奏中にドヤ顔になってしまうことだけか。

そして、私、高柳はここで好き放題書いたくせに、ベースの先輩同輩に支えてもらいながら日々奮闘中な22です。得意技は理不尽な物まね（by神長）

また、20の池田先輩も助っ人として乗ってくださっています！池田先輩は人柄も演奏も「頼れる」そのものです！池田先輩も加われば我らがコントラバスパートは無敵です（キリッ

以上5名で一生懸命演奏しますので、ぜひご注目ください♪

(編注：当団では、団員を入団年度で呼称しております。本文中に登場した「21」あるいは「22」という表記は、それぞれその団員が平成21年度、平成22年度に入団したことを表します。)

**Flute**

【問題】次の東大オケフルートパートに関する文章を読み、以下の各問に答えよ。

ご来場の皆様、**本日は第61回駒場祭特別演奏会にお越しいただき、本当にありがとうございます**。早速ですがパート紹介をさせていただきます。

オーケストラに限らず、吹奏楽、ソロ、アンサンブル・・・と幅広く活躍するフルートですが、このオケのパートには、他ではなかなか見られない大きな特徴があります。　　それは・・・a**「男の園」**であること。　なんと全パート員８人中７人が男性です（！）。　本日は、そんなメンバーのうち駒場オケの４人が繰り広げるちょっとアブナイ（？）ハーモニーをどうぞお楽しみください。

続いて、メンバー紹介です。

まず、1**今回フルートパートリーダーを務める頼れる先輩**、安心院は、2**「イケメン」の「ン」が「ソ」にならない、Ｎｏｔ残念系の貴重な人材**の一人。木管セクションには珍しく、3**あまり男の子には興味がない**みたいです（笑）

次に、1**駒祭インスペクターとして木管セクションの「お父さん」的な役割を務める**大岡は、2**木管内が思わず大爆笑する抜群のギャグセンス**の持ち主。3**あまり特徴的な行動がないのでモノマネしづらい**のが下級生としてはちょっと残念。

1**言わずと知れた東大オケのイケメン**、一年生の西澤は、本当は2**とっても内気なシャイボーイ**。3**下ネタにはちょっと弱い**のが玉にきずです。

そしてこんな1**素直で良心的なパート紹介**を書く2**本名「たかし」**こと深井は、まさに3**心の真っ白なフルート少年の鑑**。4**ちょっとうっかりで計画性に欠ける所がある**のが残念。

問１：　下線部aに関連して、**フルートパート内における愛とハーモニーのあり方**について、4000字程度で述べよ。

問２：　上の各紹介文の下線部には、**一人につき一つだけ正しい記述がある。**それはどれか、記号で答えよ。(他の選択肢については・・・ご想像にお任せします（笑））

【解答】

１ ご想像にお任せします（笑）

２ 順に、1、1、1、4。

繰り返しますが、他の選択肢はご想像にお（以下略）

こんなフルートパートですが、皆様どうかよろしくお願いします。

**Oboe**

こんにちは、オーボエパートです。

オーボエパートをジブリ風に紹介してみた２

2年

小峰直之

→頼れるパトリ、でもやっぱりカオナシ。あっ……あっ……

田代夕貴

→ポニョ。去年の中トトロは、ずんぐりむっくりさがやや不満だったらしい。

1年

市川早紀

→キキ。楽器も恋も勉強も、明るく元気にがんばります！きらきら☆

森永真実子

→月島雫…になりたい。

だいたいこんなパートです。

**Clarinet**

　こんにちは！本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。

クラリネットは、オケの楽器では新参者の類に入りますが、甘く深い音色・明るく軽快な音色など色んな引き出しを持っています。オーケストラはもちろん、吹奏楽やスウィングジャズでも幅広く活躍しています。また、楽器「クラリネットをこわしちゃった」という童謡でもおなじみですね。~~パパからもらったクラリネットは遠慮したいところです。~~

　本日の東大オケのクラリネッターズ（？）は

21：小田切　萩原

22：白井　杉下

でお送りします。他パートの暴走を尻目に、木管楽器パートの良心を目指して日々頑張っています！・・あれ、他の楽器の視線が痛い・・

　では、そんなクラリネットにも思いを馳せつつ、本日の演奏をどうぞお楽しみください！

**Bassoon**

こんにちは！ファゴットパート略してファットです！  
毎年、木管セクションでは1年生がこの楽器紹介ページを書くのですが  
今年は2年生である塚本が書かせていただいております。  
なぜかと申しますと  
我がパートには今年の春、新入生が入ってくれなかったからです(´Д` ;)  
  
　プログラム作成の責任者から  
「書く楽器のパート紹介を担当の人は○月○日までに提出して下さい。」  
という連絡を受けた後、僕と相方(Fg2年井手)は話し合いました。  
  
塚本「プログラムさー、去年オレ書いたから井手が書いてよ」  
井手「は？そんな事知らないし(´д｀=)？」  
塚「知れよ！！ってか今教えてやるよ！！去年はボクが書きましたーー！」  
井「いや、絶対書かないから」  
  
あぁ、なんという事でしょうか。  
1年生がいないばっかりに、仲の良かったFgパートにこのような亀裂がはいろうとは。  
かしこかしこ、あなかしこ。  
  
ですが！！  
  
そんなFgパートにもついに一年生が！？  
  
という事で今年の駒場祭は  
2年 井手 塚本  
1年 柳  
の3人で「仲良く」演奏させて頂きます。  
  
最後までお楽しみください。

**Horn**

本日はご来場いただきありがとうございます。ホルンパートです。

ホルンは世界一難しい金管楽器としてギネス認定されている楽器ですが、金管らしい華やかな音色も、木管と調和する柔らかい音色も出せるすごい楽器なのです。詳しくはウィ●ペディアで。

ここでパート員の紹介です。

2年生

Yさん→我らがパトリ。ブラ２におけるホルン1stの見せ場の各所では豊かな音色で団員をも魅了しています。

Sさん→ホルンにかける情熱とその腕前、そして2年間で構築した残念キャラに定評のある賢者。毎日がオケで充実しています。

Kさん→わがパートの母的存在。堂々と演奏する姿は雄大な森を思わせます。ある意味森ガールといえましょう。

1年生

Fくん→初心者スタートながらも着実な上達を見せ、将来有望な彼。意外な一面もあるとかないとか…

Kさん→最近はサン●ャイン牧場だけが心の潤いとなっているようだ。ずーみんずー。

こんな感じの5人で頑張っております。それでは演奏をお楽しみくださいませ。

**Trumpet**

こんにちは、トランペットパートです！トランペットといえばみなさんご存知のようにあのらっぱと称される楽器です。映画などでもおなじみですよね。ラピュタのパズーが吹いているあれです。　

でも今回は見飽きたなんて言わずに、吹いている楽器をよく見て下さい。テレビなどでよく見る楽器とは違うなと思いませんか？そうなんです、ベートーベンとブラームスではロータリートランペットを使っています。間違ってもトランペットを横にして使っているわけではないので安心してください。普通のトランペットのようなピストンではなくホルンのようなロータリーが付いている楽器です。  
　今回トランペットパートは、トランペットでとても綺麗な音色を奏でる、自称残念キャラだけど実は萌える要素にあふれる「早川拓」と、髪型が似ているという理由だけでラトルという仰々しいあだ名のついてしまった「林佑樹」、そして二郎とカリンニコフをこよなく愛し、次期総務、そしてこのトランペットの駒祭パトリ「濱口知也」の３人でお送りします。この３人一見てんでばらばらのようですが実は様々な共通点があります！

まず３人とも理科一類です。さらになんと名字が全員「は」から始まります！そして気になる性格はというと………意外と共通項でくくれる気がしてきませんか？

 そんなトランペットに是非耳を傾けてください。

**Trombone**

こんにちは。

ご来場ありがとうございます、トロンボーンパートです。

トロンボーンはスライドで音の高さを調節する金管楽器です。長い間、教会で演奏される音楽で使われていたこともあり、クラシック音楽の中では神の象徴として使われる神聖な楽器として位置づけられていました。美しいハーモニーを奏でることが出来る…楽器です←

どうぞ本日の演奏をお楽しみ下さい！

〈パート員紹介〉

1st鶴田

パートリーダー。背がとても高い方です！腕も長くて7ポジションが余裕で届きます！！

2nd櫻井

東大オケ8人目の女性トロンボーン奏者です。

経験者のようですが…？ブラームスは本当に緊張しています＞＜

3rd小野

チューバを吹いていたそうです。トロンボーンは大学に入ってから始めました。かなり重たい楽器で頑張っています。

**Tuba**

こんにちは、テューバパートです。  
と言っても駒場オケでのパート員は私だけですので、「こんにちは、室橋です。」と言ったところで指す内容は全く変わらないわけですが。まあそれはさておき。

ステージの一番うしろ、金管楽器の列の一番右をご覧ください。テューバ奏者はたいてい楽器を床においてぼけーっと座っております。  
　おい！なにさぼってんだよ！……いやいやいやいや、決して楽器が重くて肩が凝ったから休んでいるとか、そういうのではありません。実際重いんですけどね。  
　テューバは出番の少ない楽器です。そのため、演奏中のかなりの時間は音楽鑑賞タイムになっているのです。しかも、吹いたところでトランペットやホルンのように目立つことも、あまりありません。そして結局、「あれ？今の曲でテューバ出てきたっけ？」と思われてしまう切なさ（カレリアとブラ2は吹いてますからねっ！！！）。  
　しかし！出番が少ない分、一つの音に込める想いには並々ならぬものがあります！また、決して目立つわけではありませんが、オケの響きを厚くし、みんなが楽しく演奏できる「空気」を作り出しているのです。人間関係においても、そうありたいものですね。なんて。  
  
　それでは、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

**Percussion**

21寺田(以下寺)「先輩、またパート紹介しなきゃいけないみたいです」  
20三浦(以下三)「まじか。でも僕はもう本郷生だし、寺田さんがやっちゃってくれていいよ」  
寺「そんなこと言わないでくださいよー私が一人で自己紹介しててもしょうがないじゃないですかぁ」  
三「それもそうか。じゃあ僕も参加するよ」  
寺「ありがとうございます」  
三「今回は寺田さん全トップで大変だよね」  
寺「まあ確かに全部ティンパニですけど…でもカレリアは三浦先輩乗ってくださってますし、管トラの深井ッティとらいらいもがんばってくれてるんで、楽しく練習して来られました」  
　※管トラ…打楽器パート数が多いとき、お手伝いをしてくれる管楽器の人のこと。  
三「僕も乗れて楽しかったよ。シンバル新しいからキラキラだし」  
寺「楽しかったって、本番はまさに今からなんですから過去形じゃ困りますよ」  
三「確かにそうだよね(笑)とにかくいい演奏になるようにがんばろうぜ」  
寺「はい、よろしくお願いします♪じゃあお先に…エグモントから行ってきます！」